

経営健全化方針に基づく取組状況(令和4年度)

○法人名：酒田まちづくり開発株式会社

○経営健全化方針を策定した理由：14,859千円の債務超過額が発生したため。

○財政的リスクの状況

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算
債務超過額(千円)	14,859	14,550	16,038	15,570	15,343
	令和4年度 決算	目標達成年度 (令和7年度)			
債務超過額(千円)	15,217	0			

○主な取組状況(令和5年3月末現在)

【法人自らによる経営健全化のための具体的対応】

2015年度末から実施している経営のスリム化、それに伴うコストのカットを継続するとともに、指定管理施設の運営、不動産の賃貸、お土産品の開発・販売、誘客施設の管理受託等を堅実に進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による入館者数の減少で経営が困難だった山王くらの指定管理を令和3年3月末で終了し、赤字部門を整理。経営を更にスリム化した。

国の小規模事業者持続化補助金を活用しパンフレット作成、ホームページ改修し、県外の旅行エージェント、百貨店への販路拡大に向け取り組んでいる。

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】

これまで、民間事業者から管理を受託している誘客施設や市からの指定管理施設である山王くらの企画展等のPR、エージェント等への積極的な紹介・PR、酒田舞娘を山王くらは市内の観光施設に派遣して誘客効果を高めるといった間接的な支援を行ってきた。

新型コロナウイルスの影響で市が休館を求めた期間の入館料収入の減少分については、指定管理料の変更という形で補填支援した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

項目	金額(千円)			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産総額	27,859	29,763	28,255	27,030
(うち現預金)	(4,909)	(7,767)	(6,323)	(6,433)
(うち売上債権)	(489)	(573)	(775)	(1,163)
(うち棚卸資産)	(1,876)	(1,991)	(1,973)	(1,868)
負債総額	42,718	44,314	44,293	42,601
(うち当該地方公共団体からの借入金)	(0)	(0)	(0)	(0)
純資産額	△14,859	△14,550	△16,038	△15,570

項目	金額(千円)			
	令和3年度	令和4年度		
資産総額	21,319	20,014		
(うち現預金)	(1,680)	(752)		
(うち売上債権)	(498)	(457)		
(うち棚卸資産)	(2,516)	(3,130)		
負債総額	36,662	35,231		
(うち当該地方公共団体からの借入金)	(0)	(0)		
純資産額	△15,343	△15,217		

(損益計算書から)

項目	金額(千円)			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
売上高	35,694	31,518	31,740	23,123
営業損益	△5,718	367	△2,016	△3,062
営業外損益	481	126	438	3,995
特別損益			274	△280
当期純損益(税引前)	△5,237	493	△1,302	652

項目	金額(千円)			
	令和3年度	令和4年度		
売上高	11,660	10,149		
営業損益	△203	△468		
営業外損益	615	778		
特別損益				
当期純損益(税引前)	412	310		

以上